

中期標準化戦略(概要と目的)

専門委員会・AG名

番号計画専門委員会

1/3

企画戦略委員	上茶 雄 (NTT)	登録委員数	18/8会社・大学
正副委員長 リーダー・サブ	委員長：伊藤 努 (NTT)、副委員長：井上 統之 (KDDI)	図解	
活動の目的・意義	更なるIoT/M2Mサービスの進展とグローバル化ならびにIPマイグレーションの進展による番号計画上の対応（新規・改訂勧告の策定）を、関連する分野の専門組織と連携しながら進め、今後のサービスの発展に向け有限な番号リソースが有効に活用されることを目的とする。	ITU-T SG2 (電気通信番号の標準化) 国際勧告作成・改訂 - IoT番号勧告 (E.IoT-NNAI) - 番号計画 (E.164勧告) - 番号ポータビリティ (E.164Sup.) - IMSIの割当・管理 (E.212勧告) - 番号誤用 (E.156勧告) - 国際発番号 (E.157勧告) - IoT識別子 (E.IoT-.NNAI) - IINの割当・管理 (E.118勧告) - OTT番号 CEPT_ECC_NaN (欧州主管庁技術検討) - 発番号偽装対策 - 番号ポータビリティ - eCall番号 - 将来番号 ETSI_NTECH (欧州組織/世界レベル) - Stir/Shakenの技術課題検証 - オールIP化での番号ポータビリティ FCC, NANPA, iconectiv (米国主管庁・規制機関) - STIR/SHAKEN導入 - NNP(全国番号ポータビリティ) IETF (IP技術標準化) - 発番号偽装対策 (STIR) - IP番号管理 (MODERN) GSMA (モバイルの商用検討) - eSIM使用方法 - IMSIの拡張使用 - IINの拡張使用 3GPP (無線通信標準化) - IMSIの拡張 - M2M番号のユースケース 会合参加 会合参加 動向注視 動向注視 リエゾン リエゾン	
活動する上での課題	ITU-T SG2での課題取り組みへの対応を基本とする。 具体的には、IoT/M2M用番号計画の新規勧告策定、IMSIの割当管理の勧告E.212改訂、IIN(Issuer Identifier Number)割当の勧告E.118改訂、番号使用の適正化対策(発番号詐称等)の新規勧告策定、障害者用国際番号の割当、AIを用いた災害マネジメントFGの立上げ、IP網化に向けたインタワーク・ENUM、番号ポータビリティ・キャリアスイッチング等が課題である。		
関連のSDGsゴール			
標準化方針	- 国内動向に関連する番号関連標準の作成、修正等の必要性については、ITU-T SG2に加え、関連する標準化団体、欧州及び米国の番号主管庁・規制機関等の動向を見極め、判断を行う。 - 上記判断により、必要に応じてTTCドキュメント作成・改訂に着手する。		
国内外標準化団体動向	- ITU-T SG2では、IoT/M2M、移動体識別のIMSI、IIN、番号使用の適正化(発番号詐称等)、障害者用国際番号の割当、番号ポータビリティ・キャリアスイッチング等の課題に関する勧告化を検討中。 - ETSI NTECHでは、網のIP化における番号ポータビリティ方式などの課題の検討が幅広く実施され、番号方式のノウハウが蓄積されてきた。 - IETFでは、発番号偽装対策方法を検討するSTIR (Secure Telephone Identity Revisited)WGにて、技術的な議論が継続されている。 - 欧州郵便電気通信主管庁会議(CEPT)配下のECC-NaN (Numbering and Networks)では番号の技術的検討を実施。TTCとの合同セミナーを2019年度に実施するなど、相互理解を深める活動を行っている。 - 米国の番号主管庁・規制機関であるFCC, NANPA, iconectivでは、発番号偽装対策のSTIR/SHAKEN導入、NNP(全国番号ポータビリティ)、番号逼迫対策などの課題が幅広く検討されている。		

重点取り組み	①ITU-T SG2では番号ポータビリティ、E.212勧告改訂、番号誤用・発番号勧告改訂、IoT番号・識別子、IoTとローミング(領域外使用)、E.118勧告、OTT(Over The Top)番号の議論があり、個々の課題に関するラポータ会合に参加。 特に番号ポータビリティについては、積極的に寄書提案を行い、勧告の改訂(E.164 Supplement 2)ならびに国内TTC標準の改訂実施。 ②電気通信番号に関する検討の相互理解を深めるため欧州ECC-NaNの会合に参加、今期は合同での国内セミナー実施を見送ったものの、国内プロモーション活動としてTTCLレポート、ITUジャーナル・研究会への投稿を実施。			
主な活動項目	概況指標	2020年度目標（当初計画時）	2020年度実施状況	記事
① アップストリーム 他団体との連携	寄書数	2件	1件	
	外部会合への 参加・連携状況	• ECC-NaN全体会合(5月、10月) • ITU-T SG2：6月会合 • ECC-NaN番号ポータビリティ/スイッチング・番号への信頼PT会合(6月) • 米国番号規制組織(iconectiv, NANPA, Verizon等)との意見交換 • ECC-NaN将来番号PT会合(9月) • IETF108(7月：マドリッド)：未定	• ECC-NaN全体会合参加(5、12月) • ECC-NaN2プロジェクト会合参加(6、10月) • SG2第6回会合参加(5～6月) • SG2第7回会合参加(9月) • SG2第8回会合参加(12月) • SG2 Q1ラポータ会合参加(4、5、7、8、10、11月に課題検討促進のため複数回中間会合開催)	
② ドキュメント作成 国内標準 仕様書 レポート	JJ標準	0件	1件 第6回SG2会合(年5～6月)での番号ポータビリティ勧告(E.164 Supplement 2)の改訂に基づきJT-E164 Supplement 2の改訂を実施	
	TS/TR/SR	0件/1件/0件 ※実施候補：ECCLレポートの翻訳（候補：番号への信頼）	0件/0件/0件	
③ ダウストリーム	数	0件	0件	
④ プロモーション 普及推進	セミナー、記事投稿、講演会	番号政策・将来番号方式等に関するセミナー等の企画によるプロモーションの実施	未実施	
		適宜、TTCLレポート、ITUジャーナル等への投稿による普及活動を予定	TTCLレポート(7月号)、ITUジャーナル(7、12月号)、ITU研究会(7月)への投稿による普及活動を実施	

新テーマ及び重点取り組み	①ITU-T SG2での検討課題（IoT/M2M用の番号計画に関する新規勧告の策定、IMSIの割当管理に関する勧告E.212改訂、IIN(Issuer Identifier Number)の割当に関するE.118勧告改訂、番号ポータビリティ・キャリアスイッチングに関する勧告の改訂等）に対し、会合及び関連するラポータ会合に参加し、動向を注視するとともに必要に応じてアップストリーム/ダウンストリーム活動を実施。特に、番号ポータビリティ方式に関する寄書提案等に関しては積極的にアップストリーム活動を実施。 ②国内での番号方式に関する普及活動として電気通信番号セミナー開催、TTCLレポート・ITUジャーナル等への投稿を実施予定。また、欧州との相互理解を深めるために、欧州ECC-NaNとの交流を継続し、テクニカルレポート(ECCLレポートの翻訳)の作成実施。			
関連する専門委員会とその内容	・ 特になし			
主な活動項目	概況指標	2021年度目標（当初計画時）	2021年度実施状況	記事
① アップストリーム 他団体との連携	寄書数	2 件		
	外部会合への参加・連携状況	・ ITU-T SG2のQ1ラポータ会合(3月)、プレナリ会合(5-6月) 其後の会合及び関連するラポータ会合(時期未定)への参加 ECC-NaN全体会合(5月、10月)への参加 ・ 米国番号規制組織(iconectiv, NANPA等)との意見交換		
② ドキュメント作成 国内標準仕様書 レポート	JJ標準	0件		
	TS/TR/SR	0件/1件/0件 ※実施候補：ECCLレポートの翻訳（候補：番号への信頼）		
③ ダウンストリーム	数	0件		
④ プロモーション 普及推進	セミナー	番号政策・将来番号方式等に関するセミナーの企画によるプロモーションの実施(10月目途)		
	記事投稿、講演会	TTCLレポート、ITUジャーナル等への投稿による普及活動を予定		